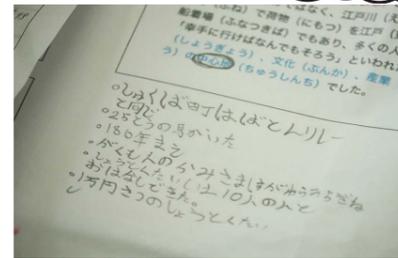


真剣な眼差し...



はい！知ってるー！



授業を受けての感想では、「幸手にお城があったことに驚きました。」「幸手駅がお城の跡にできたことがわかりました。」「授業を受けて、幸手にお城やえらい人たちがいて、まちも栄えていたことがわかりました。」「学校の近くにある名所を、実際に見に行きたいと思いました。」などが上がり、学習の目的はしっかりと児童に伝わっていたようです。

授業中のメモをとる姿勢や、自分たちのまちの歴史を学ぼうとする眼差しが、とても印象的でした。

幸手歴史探検!

幸手にお城があった!?



10月19日(月)上高野小学校3年生児童を対象に、社会の学習「歴史出前授業」が行われました。幸手宿観光ガイドの会みなさんが先生となり、児童は、学校の周りにある歴史ある建物など、自分たちの住む幸手市について詳しく学びました。

ガイドの会的小野田さんが「約700年前に一色氏というお殿様が幸手に来て、幸手城を築きました。幸手城は昔のお城なので天守閣はなく、周囲に堀や土塁をめぐる「陣屋」といった方がふさわしいお城でした。古い地図を見ると幸手城は現在の幸手駅の場所にありました。」と説明すると、児童たちから「え～！700年～!？」などの驚きの声。

また、夏祭りでお神輿がくりだす上高野神社、聖徳太子を祀る太子堂や、源頼朝が開基したと伝わる神宮寺・薬師堂などの説明では、「知ってる～!」や「聞いたことある～!」などの声も聞こえました。

約700年前に一色氏というお殿様が幸手に来て、幸手城を築きました!



え～っ!

700年～!?

学校での宿場あるきは初めての試みです。ぜひ実際に歩く、宿場あるきにも参加してほしいと思います。記念品の缶バッジも、コースごとに白色、黄色、緑色と3種類あります。ぜひコンプリートしてください。

ガイドの中島さん

※お城のイメージは茨城県坂東市の逆井城です

幸手に生まれて76年。幸手のことでわからないことがあったら聞いてください。自分たちのまち、幸手を知ることは楽しいですよ! ぜひ、宿場あるきにも参加してください!!



久保田さん

小学生向けに、いつもの資料にイラストなどを入れてわかりやすく作りました。幸手にお城があったこと、幸手は日光道中と日光御成道の宿場町としてにぎわっていたこと、上高野小学校の近くにも歴史があることなど、子どもたちに伝わったと感じています。今後このような「出前授業」を増やしていきたいです。



小野田さん



「日光道中間延絵図」(東京国立博物館所蔵)

幸手にお城があった! 幸手にお城があったこと、みなさんご存知でしたか? 幸手にお城があったことが、左図の「日光道中間延絵図」から読み取れます。この中に、「一色宮内城址」とあり、これが幸手にお城があったということを示しています。また、近くに志手橋や祥安寺が見られることから、お城があった場所は現在の幸手駅付近であることも伺えます。普段使っている幸手駅にお城があったと考えると、ちよつと不思議な感じがしますね。

このほか、幸手市の魅力や木村市長がアフリカに滞在していたときのことなどについての質疑応答がありました。ZOOM取材はなかなか雰囲気でおよそ40分間。この様子はベナン共和国の新聞にも掲載される予定です。

ベナン選手に応援メッセージを! 大会に向けて、練習や稽古に多くの時間を費やしてきたことと思います。これまでの成果を存分に発揮し、思い出に残る素晴らしい大会となるよう願っています。



ベナン共和国との交流で、印象に残っていることは? 昨年の「幸手市民まつり」に、駐日ベナン共和国大使館のみなさんとNBAで活躍する八村塁選手のお父さんであるザカリ・ジャビルさんが、参加してくれ、市内バスケットボールクラブの子どもたちが八村選手へ向けた手紙をジャビルさんに渡す一場面が、印象に残っています。



11月13日(金)市役所で、木村市長が、ベナン共和国の記者からオンライン取材を受けました。ラステル・ダン(レヴェヌマン・プレス紙)記者と、ジョエル・ボス(ル・マティナル紙)記者の「東京オリンピック・パラリンピックについて」の質問に答えます。

